ロジックモデル＜過疎・中山間地域の医療（へき地の医療）＞

施策【D】 ＜施策・取組の展開＞	初期アウトカム【C】	中間アウトカム【B】 ＜施策の方向性＞	分野アウトカム【A】 ＜目指す姿＞
1．へき地診療			
①総合診療医養成の取組 ②地域医療を学ぶ研修会の取組 ③へき地診療所の運営に対する支援	●プライマリケアの診療が可能な医師等が確保されている ●必要な診療部門がある 指標番号：C101～C102	●無医地区等において地域住民の医療が確保されている 指標番号：B101～B102	●へき地で暮らす住民が地域で必要な医療サービスを継続して受けることにより、健康を維持して安心して地域に住み続けられる 指標番号：A1～A2
①へき地診療所における医療機器等の整備 ②無医地区等を有する市町村の患者搬送体制の整備 ③オンラインを活用した診療支援の取組	●必要な医療機器等が整備されている ●へき地診療所診療支援システムなどを活用した診療が行われている ●緊急の内科的・外科的処置が可能なへき地医療拠点病院等と連携している 指標番号：C103～C105	●専門的な医療や高度な医療への搬送体制が整備されている 指標番号：B103	
2．へき地診療支援			
①へき地医療拠点病院の医師確保 ②へき地医療拠点病院の医療機能の確保 ③ドクターヘリ等の有効活用 ④へき地医療拠点病院支援システムの活用 ⑤へき地医療拠点病院における医療機器等の整備	●へき地医療拠点病院支援システム・へき地診療所診療支援システムなどを活用した診療が行われている ●巡回診療や当番制の診療体制等によりへき地住民の医療が確保されている ●へき地診療所やへき地の医療従事者に対する支援ができている ●遠隔診療等により各種の診療支援ができている ●高度の診療機能を有する機関がへき地医療拠点病院の診療活動を援助できている 指標番号：C201～C205	●へき地診療所等の診療の支援ができている 指標番号：B201～B202	
3．行政機関等による支援			
①へき地医療支援教員の確保 ②へき地医療支援医の確保 ③自治医科大学卒業医師の確保 ④修学資金被貸与医師の確保 ⑤キャリア形成プログラムの作成 ⑥ドクターバンクふくしまの取組	●へき地診療所からの医師派遣要請に関する調整が円滑にされている ●へき地医療に従事する医師を確保するためのドクタープール機能が確保されている ●へき地医療に従事する医師のキャリア形成支援ができている ●へき地における地域医療分析ができている ●へき地医療支援機構の専任担当官となる医師が配置される 指標番号：C301～C304	●へき地医療支援機構によるへき地への支援ができている 指標番号：B301～B304	